

## 地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	高知県	事業実施主体	高知県、仁淀川町	地域再生計画名	「仁淀ブルー」のまち仁淀川町の山・川を活かした地域活性化計画
計画期間	R4～R8	評価責任者	仁淀川町 企画振興課長、建設課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	目標 1	間伐面積	114.4	R3	159.4	R6	66.1	189.4	R8	×	指標 総数	達成 数	間伐面積としては未達成となっているが、令和4年度頃から間伐主体の施業から皆伐主体の施業に切り替わってきており、原木素材生産量は上昇している。 【原木素材生産量】R4：34,425m3 R5：43,073m3 R6：48,616m3
	目標 2	移住者数	12	R3	14	R6	27	17	R8	○	3	1	県外での移住相談会の実施による移住希望者や、林業研修生成成制度による林業従事者の移住希望者は増加傾向にあり、目標値を上回る結果となった。今後も引き続き移住相談会の実施や、空き家調査・整備を継続的に行之、移住者の受入れ先を確保しつつ移住者の増加に取り組む。
	目標 3	年間観光入込客数	83,744	R3	95,744	R6	95,312	103,744	R8	×	一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と流域6市町村で策定した仁淀川地域観光振興計画に基づくPR活動等により、各施設等の年間入込客数は年々増加している。中間目標値は若干下回っているが、年間観光入込客数は増加傾向にあり、引き続き各取り組みを実施していく。		
②事業の進捗状況		事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度（R6）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業		町道整備事業	1.74	0.46	1.74		町道整備の施工箇所が急峻な地形のため、路側構造物が大型化し、m当たりの単価が増大したことにより、計画どおりに実施できない部分があった。また、資材単価及び労務単価の高騰により、延長が計画通り延びなかった。今後の設計・施工により、目標達成を目指していく。						
		林道整備事業	4.21	1.85	4.21		林道整備により、搬出主伐・間伐の効果が出ている。しかし、町道と同様に、施工箇所が急峻なために構造物が大型化し、m当たり単価が増大したこと、資材単価及び労務単価の高騰により計画通りの延長が実施できなかった。						
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業		林業家育成事業	林業に従事する労働力の確保を図るため、町内外から研修者を募集し、林業・木材産業への従事者を育成する。			林業に従事する労働力の確保を図るため、町内外から研修者を募集し、林業に関する知識や技術を習得する場を設け、林業・木材産業への従事者を育成することにより、地域の活性化や森林の持つ公益的機能の維持増進を図っている。							
		緊急間伐総合支援事業	小面積でも山仕事を続ける、中小規模森林所有者が行う間伐や作業道の開設を支援することにより、就労の場の確保や森林の持つ公益的機能の維持増進を図る。			担い手の減少等により森林の荒廃が懸念される中山間地域等において、森林の持つ公益的機能の維持増進を図るほか、小面積でも山仕事を続ける中小規模森林所有者を支援するとともに、造林事業で採択にならない小規模林家を対象に、森林整備（搬出間伐・切捨間伐・作業道開設）に対する補助を実施し、森林整備の支援を行った。							
		移住促進事業	人口減少の抑制と集落機能の維持及び存続を図るため、移住相談員を配置し移住相談会等を開催し、移住の促進を積極的に行う。			人口減少対策及び集落機能の維持・存続を図るため、移住相談員を雇用し、首都圏や関西での移住相談会等を開催するなど移住の促進を行っている。							
		地域おこし協力隊事業	地域の元気づくり、地域の活性化を図るため、地域外の人材を募集・採用し、地域の特産品などの発掘・振興等を行う。			地域の元気づくり・地域の活性化を図るため、地域外の人材を積極的に募集し、令和6年度は6名体制で、特産品の発掘・振興や農業並びに耕作放棄地解消への取り組みに対して支援した。							
		空家活用改修事業	移住定住者に対して住宅数が不足していることから空家等を改修して移住定住者の更なる増加を図る。			移住定住者に対して住宅数が不足していることから、空家を改修し移住定住者住宅として利活用し、移住定住者の更なる増加を目指します。令和4年度から令和6年度は、6件の住宅を改修し移住促進を行っている。							
③評価方法		地域再生計画に記載した数値目標の有識者である仁淀川森林組合長と仁淀川町観光協会会長に依頼し、中間目標値の実現状況に関する評価を行った。											
④中間評価の公表方法		仁淀川町ホームページに掲載。											
⑤計画全体の総合評価		本地域再生計画では、道整備推進交付金を活用した町道整備と林道整備を一体的に実施し、山間部での観光・移住人口の増加や、林業振興の推進などに一定の成果が得られたと考えている。観光や森林整備の増を図るため、林業においては、移住フェアでの林業従事者の発掘や平成27年11月より導入している林業研修生成成制度の活用、観光では首都圏や関西での移住相談会やPRを行ったことが成果につながっている。											
⑥今後の方針等		中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容						
		地域再生計画の見直し（有・無）											
		令和7年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額					千円						
⑦今後の方針等に対する対応		本地域再生計画においては、若干事業量及び事業進捗状況が遅れているが、数値目標である林業振興（間伐面積の増加）、移住促進（移住者数の増加）、観光交流の活性化（年間観光入込客数の増加）について、概ね達成できるとの見込みである。最終年度に向けて、事業量及び事業進捗を計画通り実施できるよう見通しを立て計画を遂行したい。											